



# CS東小便利

№ 2

令和5年10月30日 文責：土屋

## 地域の皆様のおかげ

東小学校では、CS東小会議を中心に、地域の皆様にご協力をいただき、数多くの教育活動を進めています。

### <防災キャンプ>

東小学校では「防災キャンプ」をコミュニティスクールの柱として位置付けています。学校での宿泊体験を通して、種々の防災体験をすることができました。消防団や赤十字奉仕団といった地域の方々の多大なるご支援、PTA役員、保護者ボランティアの方のご協力により、無事実施できました。心より感謝いたします。

#### 【協力していただいた皆様】

- ・起震車体験 (役場総務課)
- ・防災グッズ製作、水消火器実習 (民生委員のみなさん)
- ・ジュニア防災士講座 (静岡県東部地域事務局危機管理課)
- ・1日目の昼食 (日本赤十字奉仕団函南支部のみなさん)
- ・災害図上訓練 (消防団第6分団のみなさん)
- ・サバイバルウォーク (5年保護者ボランティア、PTA役員のみなさん)



○起震車体験 (役場総務課)



○民生委員さんによる、消火器訓練(中央)と防災グッズ作り体験(右)



○日赤奉仕団の方々と福祉課職員の方々による、カレーづくり  
(14日昼食)



○救急救命法体験、防災倉庫見学、避難用パーテーション体験をおこないました。



○ジュニア防災士を目指し、函南町消防団第6分団の方々、保護者の方と、DIG(災害図上訓練)に取り組む様子

---

## 第2回CS東小会議（9月15日：会議室）

9月15日（金）第2回CS東小会議が開催されました。学校・家庭・地域との連携について、ご意見をいただきました。

### 【CS委員のみなさんより】

- ・何事も目的を三者で共有していく必要がある。
- ・CSは、「遂行」だけでなく「見守り」も役割の一つ。目的を共有しながら、多くの目で見守っていくことも大切にしたい。
- ・立地が良いため、幼稚園と小学校とのつながりを増やしていきたい。（つながり方が地域へと伝わっていない現状もある）
- ・子供と地域のコミュニティーをどう成立させていくかが課題。
- ・CSを中心に、学校のねらい、目的などを地域へ発信させていきたい。地域へ伝達し、協力を仰いでいきたい。
- ・防災キャンプの親子参加も検討していったらどうか。親も学ぶ場として提供していく必要もある。
- ・3.11の東日本大震災では、人との関わりが役立ったという。地域のとのつながりを密にしていくためにどうしたらよいかも考えていきたい。